

未来へ！

高知市立十津小学校
2023. 4. 22
第 3 号

求める児童像
心豊かな子
自ら学ぶ子
たくましい子

令和5年度になり、登校時の風景が少し変わってきたように思います。気付いたことは二つ。一つ目は歩いて登校する子どもが増えたことです。正確な人数を数えたわけではありませんが、特に低学年の子どもが増えたように思います。高知県民は全国で一番歩かない県民だと言われているようですが、小さいうちから歩く習慣をつけておくことは、将来の健康な生活を営む上で大きな力になりますね。是非たくさん歩いてほしいと思います。二つ目は歩いて子どもを送ってきてくれる保護者の方の中に、お父さんが多く見られるようになったことです。歩調を合わせ、隣をゆっくり歩いてくれるお父さんと登校する子どもは、みんなお父さんと同じような優しい笑顔をしています。



こうして登校してくる子どもたちの元気なあいさつと、交通指導をしてくださる地域の方との微笑ましいやり取りで、今日も十津小学校の一日が始まりました。

1年生を迎える会

4月12日（水）の朝、1年生を迎える会がありました。1年生が校舎内を列になって歩き、その経路で2～6年生が学年ごとに出迎え、歓迎のメッセージを伝えるというものです。多目的ホールで2年生、家庭科室前で3年生、図書室前で4年生が迎え、勉強のこと、休み時間のこと、給食のことなど、これから始まる学校生活についてのお話を、呼びかけ風に伝えてくれました。最後は5・6年生が待つ体育館へ。頼りになる十津小学校のお兄さん、お姉さんからの優しい言葉かけに、1年生もうれしそでした。新しい仲間への思いやりの気持ちが校舎中にあふれ、温かい気持ちになれた時間でした。

コロナ前の集合形式に戻して実施することも可能でしたが、1年生を迎える会の目的、準備や練習にかかる時間、中でも入学3日目の朝に実施することによる1年生への負担を考慮し、コロナ対応で実施した昨年度とほぼ同じ方法で実施しました。5月8日より感染法上の取り扱いがインフルエンザと同等の5類に引き下げられる見込みです。今後の行事や取組についても、コロナ禍でのさまざまな行事について検討する際、目的と内容を照らし合わせたこれまでの経験を踏まえ、すべてをコロナ前のやり方に戻すのではなく、新しい教育の方向性や内容、練習や準備等の子どもと教職員への負担などを考慮し、改めて実施の在り方を考えていきたいと思います。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

